

第27回

# 「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞作品集



(「収穫の喜び」 山形市立第三中学校3年 岸野 理沙)

平成15年2月

山形県農業協同組合中央会  
山形県農協農政対策本部



## 「ごあいさつ」

### 山形県農業協同組合中央会

会長 佐藤晴登

第二十七回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに作品を応募された皆さんに、心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今回は、県内の小・中学校から作文部門において三二二点、また図画部門において一、二二八点もの力作が寄せられました。これらは、学校の先生方をはじめ、関係する方々の深いご理解の賜と感謝申し上げます。

私どもＪＡグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業と、ごはんと健康の結びつきを見直してもらうとともに、食料・農業・農村に対する理解を一層、深めてもらうことを目的として、このコンクールを実施してから、今年度で二十七回を迎えることとなりました。

日本が経済大国といわれるようになって久しくなりました。しかし、豊かな生活の中で多くの大切なものを失いつつあります。食生活の面からみると食料自給率は四〇％以下で、先進国の中では最低の水準にあります。また、朝食の欠食などの食習慣の乱れや栄養バランスの偏りなど大きな課題とされており、私たちは、将来を展望し、国内で生産できるものは国内で生

産することを基本に、日本人の主食である米も、日本国内で産し、いつの時代も安全で、安定して皆さんに供給できるように守っていく必要があると考えております。

食生活の改善や健康増進、生活の質の向上をはかるため、お米を中心とした日本型食生活を推進する必要があると考えております。

また、「山形県農業基本条例」の制定を踏まえ、ＪＡグループでは「地産地消」や「食農教育」の推進等を積極的に取り組むこととしております。小・中学校のご協力をいただきながら「総合的な学習の時間」を活用した取り組みなど、それぞれの地域の特徴を活かした取り組みをお願いすることとしております。今回、入賞されました皆さんの作品には、自分自身の体験を通じて感じた気持ちや素直に、いきいきと表現されています。

これからも美しい自然を大切にす心、家族を大切にす心を育んでいただくことを期待しております。

最後に、審査員の先生方をはじめ、小学校・中学校の先生方、ご父兄の皆さん、県ならびに各ＪＡのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、このコンクールをますます発展させていきたいと思いますようお願い申し上げます、挨拶と致します。

# 第27回「ごはん・お米とわたし」

## 作文・図画コンクール入賞一覧

### 作文部門

#### 1部(小1年~3年)

山形県知事賞	伊藤佐久磨	朝日村立朝日小学校	3年
山形県農協中央会会長賞	伊藤 睦美	朝日村立朝日小学校	2年
優 秀 賞	二宮明日香	高畠町立和田小学校	1年
"	阿部亜紗子	最上町立赤倉小学校	1年
"	大貫 秀平	最上町立赤倉小学校	2年
"	清野 史拓	朝日村立朝日小学校	3年
"	佐藤 拓夢	鶴岡市立湯田川小学校	3年

#### 2部(小4年~6年)

山形県知事賞	小野寺寛貴	鶴岡市立京田小学校	4年
山形県農協中央会会長賞	本間 稚菜	鶴岡市立朝陽第五小学校	5年
優 秀 賞	岸 はづき	最上町立富沢小学校	4年
"	渋井 彩希	山形市立桜田小学校	4年
"	二戸 浩太	最上町立大堀小学校	5年
"	阿部 貴敏	最上町立赤倉小学校	6年
"	秋野 寛斎	鶴岡市立加茂小学校	6年

#### 3部(中1年~3年)

山形県知事賞	菅原 香織	朝日村立朝日中学校	3年
山形県農協中央会会長賞	安孫子 郁	天童市立第三中学校	3年
優 秀 賞	松田 恵	南陽市立中川中学校	1年
"	川崎 成也	南陽市立中川中学校	1年
"	清野 郁	朝日村立朝日中学校	1年
"	中里恵里香	朝日村立朝日中学校	2年
"	難波 和宏	鶴岡市立鶴岡第四中学校	3年

#### 学校奨励賞

朝日村立朝日小学校  
朝日村立朝日中学校

### 図画部門

#### 1部(小1年~3年)

山形県知事賞	荘司 留加	尾花沢市立名木沢小学校	2年
山形県農協中央会会長賞	阿部 行成	鶴岡市立京田小学校	2年
優 秀 賞	庄司 栞菜	尾花沢市立福原中部小学校	1年
"	村岡 孝一	尾花沢市立荻袋小学校	2年
"	有路 杏子	尾花沢市立常盤小学校	3年
"	渡部 香菜	朝日村立朝日小学校	3年
"	佐藤 史彬	高畠町立時沢小学校	3年

#### 2部(小4年~6年)

山形県知事賞	伊藤 祐太	尾花沢市立福原中部小学校	6年
山形県農協中央会会長賞	須田 雄飛	鶴岡市立栄小学校	6年
優 秀 賞	渡辺 大平	尾花沢市立荻袋小学校	6年
"	菅野 慎也	尾花沢市立玉野小学校	6年
"	有路 里香	尾花沢市立常盤小学校	5年
"	古瀬 裕真	尾花沢市立常盤小学校	5年
"	阿部 貴文	鶴岡市立西郷小学校	4年

#### 3部(中1年~3年)

山形県知事賞	村上 美紀	山形市立金井中学校	3年
山形県農協中央会会長賞	武田亜沙美	山形市立第三中学校	3年
優 秀 賞	古川 知美	山形市立金井中学校	3年
"	須貝 恵美	山形市立金井中学校	3年
"	高島 香織	山形市立金井中学校	3年
"	椎名 俊一	山形市立第三中学校	3年
"	鈴木 聖美	山形市立第三中学校	3年

#### 学校奨励賞

尾花沢市立常盤小学校  
山形市立第三中学校

## 全国審査における入賞者

#### 全国農業協同組合中央会会長賞

(作文・2部)	今野絵理奈	鶴岡市立黄金小学校	4年
(図画・3部)	岸野 理沙	山形市立第三中学校	3年

#### 優秀賞

(作文・1部)	伊藤佐久磨	朝日村立朝日小学校	3年
(図画・2部)	佐藤 瞳	朝日村立朝日小学校	4年

# 「収穫の喜び」



山形市立第三中学校3年 岸野理沙

全国農業協同組合中央会会長賞

# 「お米いっぱいにな～れ。 楽しい田植えの思い出から」



朝日村立朝日小学校4年 佐藤 瞳

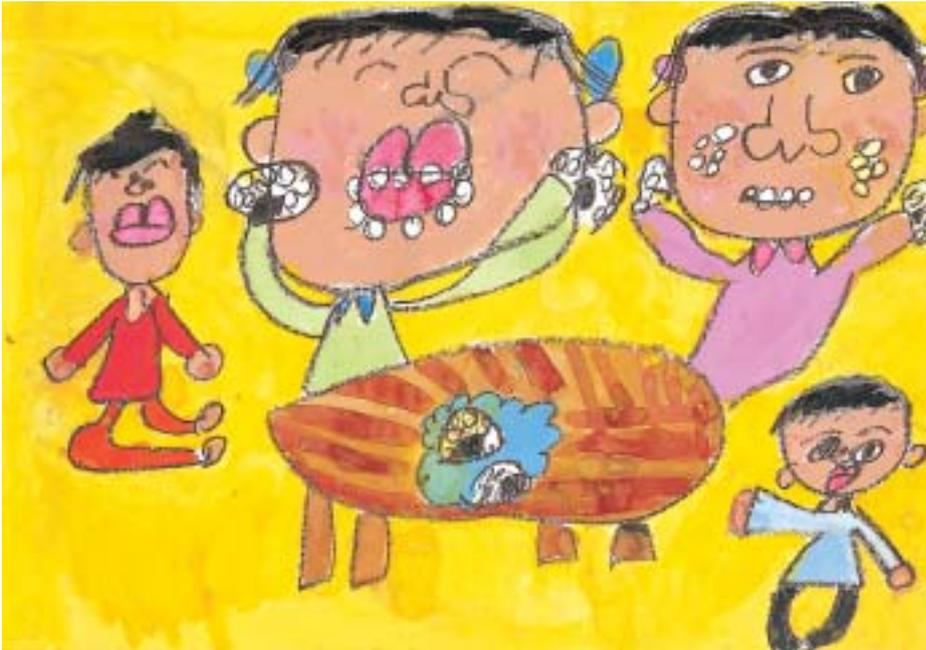
全国優秀賞

山形県知事賞

「みんながびじはん」

尾花沢市立名木沢小学校二年

莊司 留加



山形県農業協同組合中央会会長賞

「おこいちゃんとしょびじゅく」

鶴岡市立京田小学校二年

阿部 行成

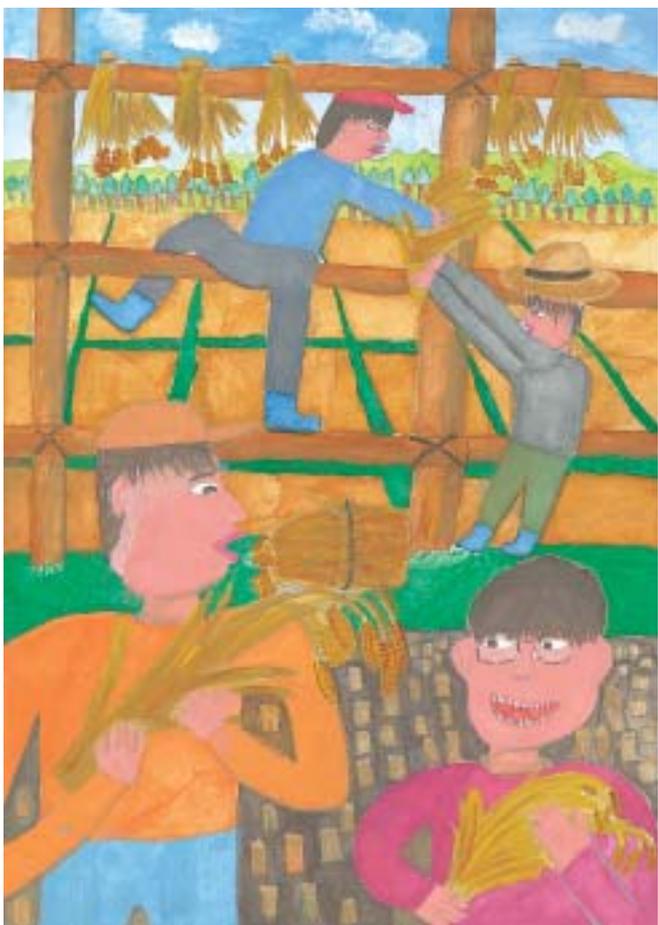


山形県知事賞

「いねかけの手伝い」

尾花沢市立福原中部小学校六年

伊藤 祐太

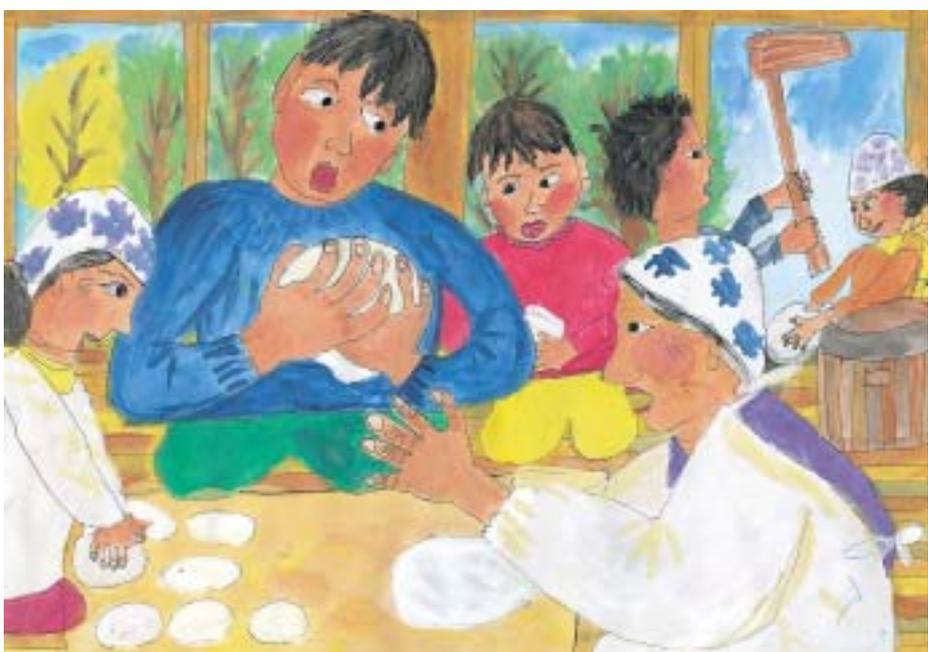


山形県農業協同組合中央会会長賞

「みんなで収穫感謝祭」

鶴岡市立栄小学校六年

須田 雄飛



山形県知事賞

「稲刈り」

山形市立金井中学校三年

村上美紀

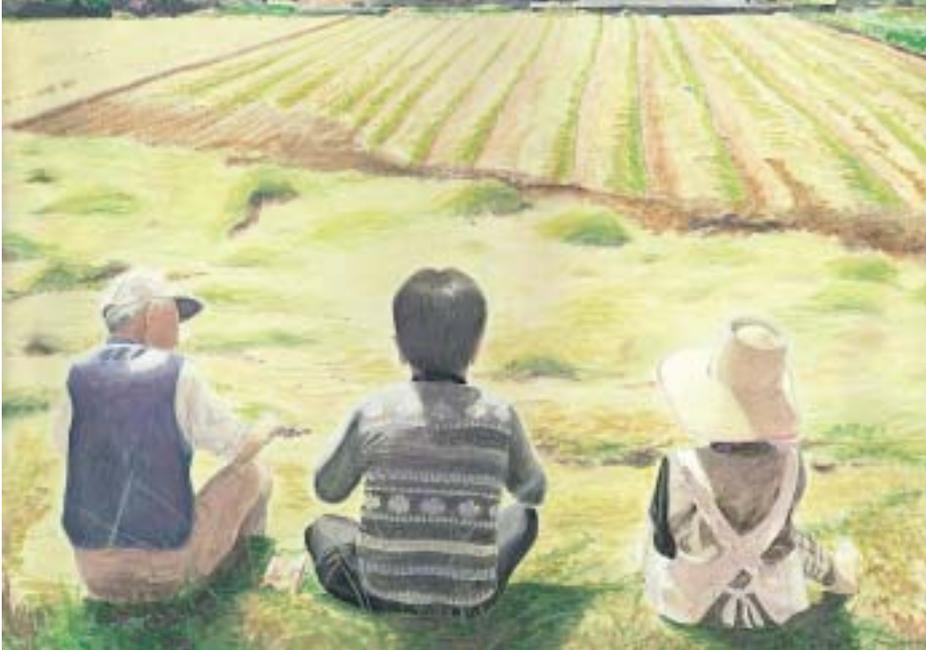


山形県農業協同組合中央会会長賞

「収穫後のひととき」

山形市立第三中学校三年

武田 亜沙美



全国農業協同組合中央会会長賞(作文2部)

「佑くんの初めてのおかゆ」

鶴岡市立黄金小学校四年 今野絵理奈

きのう、弟の佑くんが初めておかゆを食べました。今年の春に生まれた佑くんは、さいきん白い歯が見え始めたので、きのう今野家流のお食い初めをしたのです。

おかゆは私がお母さんに教えてもらいながら、カップに三分の一のお米を用意して三十分水にひたしてから、スイッチを入れて一時間楽しみに待ちました。そして、まっ白なおかゆができました。

ねていた佑くんを起こして、さい初にお父さんがスプーンでそつとあげました。あつというまに、一口で食べたのですごいなと思いました。

次に、お母さんがやさしく食べさせました。お姉ちゃんも、次に食べさせました。

そして、私が佑くんにあげるばんがきました。小さなスプーンに三つぶだけすくって、食べさせようとしまし

た。でも、うまく口に入れさせることができなくて、佑くんはぐずってしまいました。

でも、自分で用意したおかゆをどうしても食べさせてみたかったので、佑くんが落ちつくのを待ちました。もう一度、そつと口にスプーンを入れました。

「やった。」

たった三つぶのおかゆだけど、つるつと食べてくれました。初めて佑くんは、私が用意したおかゆを食べてくれて、とってもうれしかったです。

「よかったね。」

「よかったね。」

と、みんなでよろこびあいました。私は、この時のことがわすれられません。

これから、大きく大きくなる佑くんの「初めてのお米。」「あつたかい白いおかゆ。」私にも、お父さんやお母さんにかこまれてこんな時があつたんだなと思つたら、とってもうれしくなりました。

お姉ちゃんが、この夏休みに、一カップにお米が何粒あるかを調べたら、約七千二百六十粒もありました。一カップでお茶わん三ばい分だったので、一年間に食べる

お米の数を計算したら、二百六十万粒にもなるのが分かりおどろきました。

私は、毎日のようにお米をたくさん食べています。とても、おいしいけれど時々、具合が悪かったり、おなかがいっぱいになって、残してしまうこともありました。また、お茶わんにごはん粒をつけたままにってしまうこともありました。

でも、たった三粒だけれど本当においしそうに食べてくれた、佑くんのことを思うとお米の一粒一粒を大切にしなければならんだなと思いました。

たくさん農家の人達が大切に育ててくれたお米をかんしゃしながら、これからもたくさん食べて、もっと大きくじょうぶになりたいと思います。



全国優秀賞

山形県知事賞

# 「ぼくは農家のあととりだい!!」

朝日村立朝日小学校三年 伊藤佐久磨

「さくま、これで三ばいめだぞ。」

お母さんからよく言われます。ぼくは、いつもどんぶりでごはんを食べているのですが、たきたてのまっ白のごはんはとてもおいしいのです。かおを近づけると、ホワッとあまいにおいがしてきます。キラキラして、ぼくの村にふってくる雪のようです。

このごはんは、ぼくのおじいちゃんが作っています。ぼくも、おじいちゃんの手伝いをしています。

「米を作るには、八十八のてまがかかるんだ。」

おじいちゃんはよく言います。それだけ大変なことなのです。

家には、二十まいくらいの田んぼがあるので、田うえも大変です。

ハウスで育てた苗を、ぼくもはこびます。一つ一つ大

事に軽トラックまで持っていていたり、おろしたりします。苗も大きくなるとしんどくです。田んぼにさつ虫ざいをまきます。ぼくもホースを引っぱる手伝いをしました。かたがいたくなるほど重くて大変だけど、がまんして、田んぼのはじからはじめまで歩きました。

でも、ききめがきれるころすずめに食べられたり、がいがえいようをすったりしていねをいためてしまいました。ぼくもお手伝いをするけど、いねを守るためのおじいちゃんの手伝いは、やっぱり大変な仕事なのです。

「ああ、お米作ってて本当によかった。とーってもおいしいんだもの。」

ぼくは、おじいちゃんが大変なてまをかけて作ったお米は、だれが作ったお米にもまけないすばらしいお米だと思っています。そのお米だからこそ、いつもおいしいごはんを食べられるんだと思います。

ぼくも大きくなったら、おじいちゃんのをうけついで、だれにもまけないおいしいお米を作りたいと思います。

## 山形県農業協同組合中央会会長賞

# 「大すき三かくおにぎり！」

朝日村立朝日小学校二年 伊藤 睦美

きょうはドライブに行く日。お母さんはわたしたちのためにおにぎりをにぎってくれます。わたしがそわそわして朝早く目がさめるとお母さんはもうとっくにおにぎりを作っています。

「あつくないの。」

「ちよつとあついな。」

「むっちゃんのおにぎりにすじこ入れてちよつだい。」

「はいはい。」

お母さんはにっこりして、わたしのおにぎりをにぎってくれます。おねえちゃんはおめぼしおにぎりが大すきで、おにいちゃんはかつおのふりかけのおにぎりが大すきです。お父さんは何でもよく食べるのでおにぎりを作るお母さんはいへんです。

でも、お母さんの手は、とつてもふしぎな、まほうの

手みたいです。だって、おにぎりは、一つ一つどれも同じ三かくになるからです。何で、こんなにじょうずに三かくになるんだろうなあ。それにとつてもあつこはんににっこしながらどんにぎるんだもの。それにもつとふしぎなのは、どれも同じに見えるおにぎりの中から、わたしのすじこのおにぎりがわかるんだもの。ぱっと見ると、わたしにはどのおにぎりがすじこおにぎりなのかわかりません。だまって見ていると、お父さんから食べられてしまいそうです。そんなときお母さんは、

「むっちゃんのおにぎりは、これだよ。」

と言ってわたしにわたしてくれます。とつてもおいしいおにぎり、わたしは口を大きくしてバクバク食べます。みんなを見るとわらいながら食べてます。お母さんのにぎってくれたおにぎりは、みんなをわらいがおにぎりにしてくれます。

わたしにも、お母さんのようにおいしい三かくおにぎりがいっぱい作れるようになりたいな。お母さんの三かくおにぎり、大、大、大すき！

## 山形県知事賞

### 「みんなで作る米」

鶴岡市立京田小学校四年 小野寺寛貴

ぼくの家は、農家です。田んぼがいっぱいあって、いねかりをする時は、お父さんとお母さんは仕事を休んで、親せきのじじちゃんやおじちゃんをたのんで、大ぜいでいねかりをします。

ぼくも、土曜日や日曜日は、田んぼに出ます。きかいが大きくて、はじっこいねをかり残すので、このいねをかり取るのがぼくの仕事です。

そのほかに、出荷するふくろに、はんこをおす仕事もします。お父さんが、田んぼから帰って来ると、

「寛貴、今日は、はえぬきいっぺとって来たが、はえぬきのはんこおしてくね。」

と言つて、見本を一つおしてくれます。ぼくは、それを見て同じようにおします。はんこは二つ、「はえぬき」と「小野寺佐吉」。おじいちゃんの名前です。そのほか

に、ささにしきとこしひかりのはんこもおします。

ぼくは、小さいころから田んぼ仕事が大すきで、児童館に入っていた時、「児童館から帰ってきたら、いねがりやつさげ残しておげよ。」とか、「今日、いねがりすつさげ、児童館休む。」とか、言っていたそつです。

新米がとれると、一度家族みんなで食べます。ごはんを食べている時、お父さんは、

「おいしいの。来年もがんばっがの。」

と言いました。ぼくも、来年も手つだおうと思いましたが、ぼくは、お父さんのあとをつごうと思っています。

ぼくの家では、なつとうを作っています。なつとうをつつむわらは、うちでとれたいねのわらを使います。寒くなると、じじちゃんとばばちゃんが仕事にとりかかります。大豆をゆでて、わらで作ったつとこに入れて、あたたかくしておく仕事はめんどろな仕事だけれど、とてもおいしいなつとうができます。ぼくは、そのなつとうをかけて食べるごはんが大すきです。

ぼくの家では牛もかっています。じじちゃんとおじいちゃんが世話をしていますが、休ごう田に牧草を植えてかり取るのは、お父さんの仕事です。牛には、牧草のほか

かに、わらも食べさせます。牛しゃにはぬかをしいてあたたかくしてやっています。

牛のふんは、一年間ねかせてかんじゆくたいひにして、畑や田んぼに入れます。たいひは田んぼの土を良くし、米の味を良くするそうです。ぼくの家では、昔からそうしてきたそうです。

こうしてみると、米作りやなっとう作り、牛のしいくとたいひ作りなど、ぼくの家では、ずい分いねとかかわってくらしているんだなと思いました。

ごはんを食べるまでには、たくさんの人が必要だけれど、それだけ、おいしいお米ができるんだと思います。これからも、「おいしい」といわれる米を作ってくださいです。



## 山形県農業協同組合中央会会長賞

### 「お米に感謝」

鶴岡市立朝暘第五小学校五年 本間 稚菜

「お米屋さんに、お米がない。」

そんなことが本当にあるのだろうか。私にはとても信じられないことだった。米どころ庄内にも起きたなんて…。

「平成五年」

私が一才だった頃の話だそう。外国米がスーパーで売られることになった。タイ米もその一つで、先生から聞いた話によると、日本の米よりも粒が長く、炊く時にどんなに水かげんに注意しても日本の米のあの炊きたてのおいしさにはほど遠いものがあつたという。

私の家族は幸いにして外国米を食べずにすんだ。なぜなら、親せきに農家があり、そこからお米を手に入れることができたからだそう。お米を買いたくても買えない人が大勢いた中、ありがたいと感じた。

今年五月に田植えの体験をした。その稲は今もつすつ

かり穂がみのり、重そうに頭をたれ下げていた。おそろおそろ粒をさわると一粒一粒がかたくしっかり実をつけていた。

夏休みに、お米を使った料理を作ったり、インターネットのホームページを見て、国々の米の使われ方について調べたりした。そして、先生に勧められてある本を読んだ。

「食べ物を粗末にするな。」

小さい頃、祖父が私に言った。

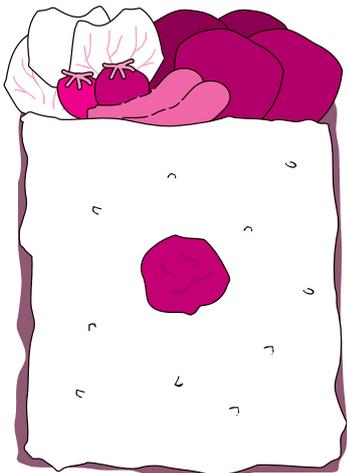
今思うと、農家をしていた祖父は、わが子を育てることに手間をかけて大切に米や農作物を育てていること、大変な苦労があることを身をもって知っていたからだと思う。苦労ばかりが多いように見える仕事だが、大変な時期にはよい事もあつたのだ。だからこそ、仕事を続けてこられたのだろうと思う。

最近、「環境にやさしい」という言葉が飛び交っている。農業でも草や虫から稲を守るために農薬を使ってきたが、低農薬とか有機栽培とか流行してきた。田んぼにカルガモをはなし、害虫の駆除や除草をさせることは、社会の時間に勉強して知っていた。本を読んで、「カブトエビ」の存在を初めて知った。もともとは山形県南陽

市にしか見られないものだったと知り驚いた。カブトエビのすごさは、除草剤のかわりに草取り虫として活躍しているだけでない。水をはっている時には、生きることができが、水を抜く時は死んでしまう。死がいは、土の栄養になり稲の成長を助けるが、次のチャンスをねらってしっかり子孫を残している。そして水がはられるとまた一部がふ化し活躍する。一部は卵のまま待つ。三億年も変わらぬ姿で生きのびているカブトエビの知恵だ。何か、日本人が大昔に米づくりをはじめて、今日まで続いているのと似ている気がする。

日本人にとって、「米」は特別なものである。新米を食べる時はとてもおいしく毎年の楽しみである。いつもおいしいお米が食べられることに感謝をしたい。

自然の中の大切なものを見失わずにもっともつと環境についてよい事を考えていきたいと思う。おいしい米を食べられるように。



## 山形県知事賞

### 「祖父の意志を継ぐこと」

朝日村立朝日中学校三年 菅原 香織

「今年の米も、良い出来だ！」

祖父は、本当にうれしそうに、そしてとても誇らしげにそう話します。こういう時の祖父を見ると、「この人は本当に米作りが好きなんだなあ。」とつくづく感じます。

私は初めは、我が家の米作りを一つの収入源であると簡単に考えていました。家族の中で働きに出ているのは母一人だけだったので、そういう意味でのうめ合わせのために農業をしているものだと思っていました。でも、自分も実際に農作業を手伝って、その苦労や大変さを知るうちに、この考えも変わってきました。我が家での祖父による米作りは、祖父が毎日を生き生きと過ごせる力の源となっているのだと思います。祖父の米作りに対する誇りや一生懸命な気持ちが感じられます。

米作りは、そのほとんどが大変な力仕事で、もちろん半端な気持ちではやっていられません。やっぱり中心になるのは祖父でした。みんなに指示を出し、根気強く作業してくれます。

しかし、そんな祖父も、二年ほど前にけがをしてからは、あまり田んぼのほうには出てこなくなりました。なので今、機械的な作業のほうは、知り合いの人の手をかりて行われています。

また、私には父親がいません。父親がいないということとは、農業の後継者がいないということの意味します。米作りのような重労働を、祖母の指示や働きだけで、今のように上手くやっていくのは難しいことだと思っし、母は家の農業を継ぐ気はないと言います。私とは言えば、自分が農業を継ぐことなんて、まだ全然考えられることではないし、今の私にはすごく重い話です。

米作りは、祖父にとって、とてもやりがいを感じられるもので、生きがいでもあると私は思います。それなのに、もし自分の代で米作りがなくなってしまうたら、祖父はどんな気持ちになるでしょう。土地はあっても、農業をする人がいなくなってしまうたら、祖父はどう感じ

るのでしよう。そう考えただけでも、すごく寂しくなりました。そして、米作りを収入のためだと思っていたことに対して、申し訳ない気持ちになりました。

今、私の胸の中には、ある一つの強い思いがあります。それは、祖父が残していくであろう田んぼの土地を守り、祖父の米作りにかけた思いを忘れずに引き継いでいきたい、ということなのです。

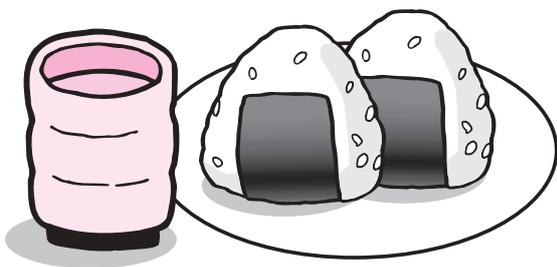
米作りをするための広大な土地があり、豊富な水資源にも恵まれている中で、今まで積み上げられてきた米作りの技術を、今さら消してしまうことはないと思います。米作りという貴重な伝統を未来に残していければ、本当にうれしいことです。

稲穂が緑色から黄金色に変わっていく様子や、収穫の喜びを、私の何倍も知っている祖父だからこそできることがあります。田んぼの水の調節や微妙なタイミングで機械を操作する祖父の姿を、私はいつも遠くから眺めていました。田んぼの水加減や土の良し悪し、姿を変える田んぼの表情を読みとれるのは、長年やってきたからこそなしえる技だと思って、今でも心から尊敬しています。

この技術を習得するのには、とても長い月日がかかる

ものだと思っています。真つ茶色で、傷だらけの両手が、それを物語っています。なので、私がこれを覚えようとしても、そう簡単なことではありません。だから、農業が今のように上手く進められなくても、祖父が米作りにかけた苦勞や喜びを決して忘れたくないと思うのです。技術を継ぐことができなくても、意志を継ぐことはできます。「みんなで作った米は最高だ!」と。

今年もまた、私達家族や手伝ってくれた人達、そして何より祖父の努力が実を結び、実りの秋が迎えられそうです。



山形県農業協同組合中央会会長賞

「小ぢいおじぎり」

天童市立第三中学校三年 安孫子 郁

「食べ物を粗末にする者に、生きる資格はない！」

それは私が四歳の時に、祖父に言われた言葉です。夕飯の時のことです。原因は忘れてしまいましたが、私はその時とてもイライラしていました。それで、目の前にあったテーブルの上の料理を、床に投げ付けてしまったのです。温厚な祖父に怒られたということは私にとって大事件でした。とても悲しくて大泣きしても、祖父は許してくれませんでした。私は祖父に許してもらいたくて、泣きながら食べ物を一つ一つひろいました。

「私、あの時本当につらいっけのよ。」

近ごろ、晩酌をしていた祖父にその話をしました。すると祖父は、

「そんなこと言っただけか。実はおじいちゃんはや、

お前と同じくらいの年に、戦争のために学徒動員令で川

崎に行つたんだ。」

と、話し始めました。川崎が空襲にあったときのこと。その時に祖父たちは炎の間隙を縫って走り回っていたこと。広い歩道に焼け焦げた死体が並べられていたこと。その真つ黒に焼け焦げた死体の群れが、すつくと立ち上がり、ぞろぞろと走り寄ってくる夢を今でも見ることに。そして、その空襲によつて山形第一高等女学校（今の西高等学校）の生徒たちが亡くなったこと。いろいろなことを聞きました。

でも、そのつらい日々のなかでうれしかったできごともありました。三日間、飲まずくわすだった祖父は、倒れそうなくらいお腹がすいていました。その時、そこを通りかかった見ず知らずの女の人が、キャラメル一粒と小さな小さなおにぎりを一個くれたのです。祖父はうれしくてうれしくて、おにぎりを少しずつ口の中に入れ、米一粒一粒噛みしめながら、大事に大事に食べたそうです。

「うまいなあ。うまいなあ。って涙流しながらくっただけなあ。」

と、なつかしそうに話してくれました。だから四歳のあ

の時、祖父はあんなにも厳しかったんだなあ、と納得しました。

九死に一生をえた体験の中で、食べ物の大切さを痛いほど知った祖父だからこそ、食べ物や粗末にしてしまった私を、強くしかったのでしょうか。

以前、「米」という字は八十八と書く。これは米を作るには八十八の手間がかかるということを表している」ということを聞きました。戦争中の祖父のおにぎりも、八十八の手間がかかった汗水で作ったもの、握った人の心がかもったもの、見ず知らずの飢えた若者に与えてくれる優しい心のかもったもの、祖父はそんなおにぎりを口にして、空腹感をみだし、元気をもらったのです。数百の死体と、廃墟の中でも生きぬいていく勇気をもらったのだと思います。

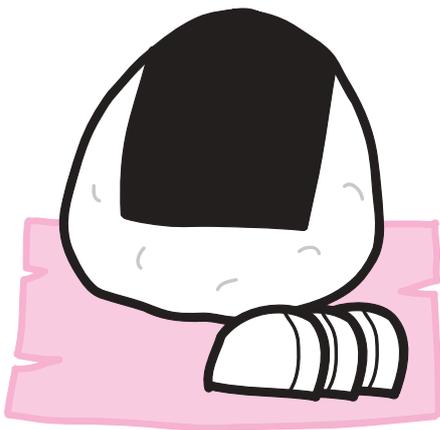
そんなパワーを持っているお米。私の家の田んぼを作ってくれていたTさんも、

「米は、おてんとさまと水と真心で作るんだ。」

と、よく言っていました。そんなTさんが作るお米は、本当においしかったです。Tさんは亡くなってしまったので、あのお米はもう食べられませんが、私が今食べて

いる山形のお米も、とてもおいしいです。きつと一粒一粒に、八十八の手間と真心がこめられているからでしょう。

私はこれから、お米を毎食毎食感謝しながら噛みしめて食べていこうと思います。お米のパワーで、受験やっらいことにも逃げずに取り組んでいけそうです。



# 作文部門審査講評

伊藤 恵美子

山形市立第三中学校教諭

第二十七回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール作文部門には、県内小中学校より八十三校、三二一点の応募がありました。全国審査では、鶴岡市立黄金小学校四年・今野絵理奈さんの作品が全国農業協同組合中央会会長賞を受賞しました。誠にありがとうございます。

一点一点の作品を読みますと、ごはんやお米を温かい目でみつめているみなさんの表情が見えてきます。山形の風土に育まれた食文化の中心であるごはんへの関心は、郷土の自然や人々の暮らしをとらえることです。季節の織りなす恵みと農業への誇りのつまった一粒。環境・歴史・経済等の多様な視点から考えられるお米です。日本の未来や生き方をからめて、これからも大切にしていきたいものです。

第一部（小学校一年生から三年生）の「ぼくは農家のあととりたい!!」（朝日村立朝日小学校三年・伊藤佐久磨・県知事賞）は、おじいちゃんのお米作りを実際に手伝いながら大変な手間をかけたからこそ「おいしい」のだと、素直に感じている様子がよく表れています。ひとつひとつのいいねいでくわしい描写も心に残ります。

「大すき三かくおにぎり!」（朝日村立朝日小学校二年・伊藤睦美・県中央会会長賞）は、熱いご飯をあつという間にきれいな三角おにぎりに作ってくれる母へのあこがれ、そしてその三角おにぎりが大好きだという作者の気持ちが素直に伝わってくる作品です。家族みんなでおいしいおにぎりをほおばる笑顔にあふれた食卓が目につかぶようです。

第二部（小学校四年生から六年生）の「みんなで作る米」（鶴岡市立京田小学校四年・小野寺寛貴・県知事賞）は、米作りを中心にして、家業のこと、家族のこと、自分自身のことを順序よく整理した形で書いています。会話文も効果的に入っており、米作りやおいしいお米への思いもわかりやすく伝わってくる作品です。

「お米に感謝」（鶴岡市立朝陽第五小学校五年・本間稚菜・県中央会会長賞）は、農業の課題「米不足」「減反」「農業」

「環境にやさしい」などを柱にしてまとめて高学年らしい作品になっています。「カプトエビ」についての驚きや米作り体験など、米に対する考えや思いが広がった様子がよく伝わってきます。

第三部（中学校一年生から三年生）の「祖父の意志を継ぐこと」（朝日村立朝日中学校三年・菅原香織）祖父の人生を映し出す米づくり。そこには畏敬の念を抱くに価する厳しくも美しい生き方が見えてきます。一日一日の労苦の結晶として実る米のひと粒ひと粒。祖父の姿を通して自分の生き方をみつめ、「伝統の後継者」として人生探求の旅に出ようとする決意が、説得力ある展開で綴られています。

「小さいおにぎり」（天童市立第三中学校三年・安孫子郁・県中央会会長賞）祖父の九死に一生をえた戦争体験談。「小さなおにぎり」に生命温められて生きる勇気を得た秘話です。米は自然の恵みと人の手間ひまかけた愛情で作られる食べ物だからこそ、かみしめる味とパワーがあると書いています。優れた構成力と思索に富んだ秀作です。

全国農業協同組合中央会会長賞に輝いた「佑くんの初めてのおかゆ」（鶴岡市立黄金小学校四年・今野絵理奈）は、弟が初めておかゆを食べた時の家族みんなの喜びが伝わってきます。「お食い初め」のおかゆを通して、毎日たべたお米の一粒一粒への思いを表現している構成が、とても上手です。

「ごはん・お米とわたし」は、身近な作文テーマです。稲作に汗を流したり、米とともに生きる人々の声に耳を傾けたり、ごはんの風味をかみしめたり、お米の未来に想いをはせたりしてみましよう。きつと発見や驚きやひらめきがあります。それらを素直に自分のことばで綴ってみることで、書くことで更に関心が高まったり、深く考えたり、行動を起こしたりします。体験・感動・思いにあふれた作品がいっぱい生まれることを願っています。

# 評講審査部門画図

勝

野 清

山形市立第九小学校校長

第二十七回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール図画部門には、県内九十五校より一、二八名の作品の応募がありました。その中から、全国審査で山形市立第三中学校三年の岸野理沙さんの「収穫の喜び」が全国農業協同組合中央会会長賞、朝日村立朝日小学校四年の佐藤瞳さんの「お米いっぱいになれ。楽しい田植えの思い出から」が山形県優秀賞を受賞しました。誠にめでとうございます。県審査の結果と入賞作品、学校奨励賞の紹介をいたします。

第一部（小学校一年生から三年生）の「みんなでごはん」（尾花沢市立名木沢小学校二年・荘司留加・県知事賞）は、画面全体からほのぼのとした温かな家族の食卓の雰囲気伝わってくる作品です。真ん中にあるのは留加さんでしょうか。とてもおいしいごはんをもりもり食べているようすが生き生きと表わされています。画面の使い方も大たん躍動感あふれる作品に仕上がりました。

「おにいちゃんとしょとく」（鶴岡市立京田小学校二年・阿部行成・県農協中央会会長賞）は、ぐんぐん育っている稲の様子を画面いっぱいに表わすことができました。色の使い方がとてもいいですねいできています。水の張った田んぼに、大好きなおにいちゃんと、一生けんめいしょとくのお手伝いをしているようすが伝わってきかき表わすことができました。初夏の田んぼの風が伝わってくるようなさわやかな作品です。

第二部（小学校四年生から小学校六年生）の「いねかけの手伝い」（尾花沢市立福原中部小学校六年・伊藤祐太・県知事賞）は、秋晴れの下、家族総出で、にぎやかに声をかけ合って仕事をしている様子が伝わってくる作品です。稲ぐいのたてと横の線が画面を引き締め、人物の動きのあるポーズが画面を楽しくしています。実りの秋を感じさせる黄色の色調が効果的です。「みんなで収穫感謝祭」（鶴岡市立栄小学校六年・須田雄飛・県農協中央会会長賞）は、登場人物がそれぞれ画面に効果的に配置され、収穫を祝うもちつきのおれしそうな様子が表現されています。一人一人の目の表現、腕の動きや指先の

表現によって生き生きとした画面ができあがりしました。今にも楽しい会話が聞こえてくるようです。

第三部（中学校一年生から三年生）の「稲刈り」（山形市立金井中学校三年・村上美紀・県知事賞）は、稲を刈るおじいさんの後姿に、力強さを感じられ、わが子を思つかのよつに、愛情をこめて刈り取る様子を見事に表現しています。視線に合わせて画面を絞りこみ、迫力のある大胆な構図になっています。それぞれの質感をすばらしい描写力でまとめ、メリハリのある作品に仕上がりました。

「収穫後のひととき」（山形市立第三中学校三年・武田亜沙美・県農協中央会会長賞）は、収穫後の田を見ながら満足感いっぱいの人。穏やかな日差しを浴び、ほのぼのとした様子が感じられます。透視法を用いた田んぼが広がりをもち、柔らかな影が人物の存在感を表わしています。作者はその幸せなひとときを、優しいタッチで見事に表現しました。

学校奨励賞は尾花沢市立常盤小学校と山形市立第三中学校が受賞しました。

常盤小学校は、優秀賞に選ばれた三つの作品だけでなく、その子ならではの独自の視点でいねいに描かれた「昼めし」「田植え」「田んぼのあと植え」「もちが切れないよ」等々の作品が寄せられ、印象に残りました。学校をあげて、取り組んでいるようすが伝わって参りました。

山形市立第三中学校は、出品されたどの作品も米や稲作にかかわる苦労や喜びを、働く人の観察を通していねいに表現されていました。画面構成、色彩の工夫によってそれぞれ雰囲気のある独自の表現がみられました。

本年度より学校完全週五日制になり、図工・美術の時間も少なくなりしました。しかし、総合的な学習として、稲作の体験学習が実施されてきており、応募作品にもその影響がでてきております。稲作にかかわる四季の美しさ、体験を通しての米や稲作の良さを感じ取り、表現する子供たちが増えてくることを願っています。

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 第16回〜第27回 入賞一覧

作文部門 図画部門

第21回	第20回	第19回	第18回	第17回	第16回
<p><b>県知事賞</b> 加藤 梓(鶴岡市) 加賀 知世(尾花沢市) 村山 直美(天童市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 橋本 菜穂(最上町) 原田 久美(最上町) 小座間裕子(天童市)</p> <p><b>優秀賞</b> 岸 健一郎(最上町) 山田 寿広(最上町) 大石 美恵(最上町) 後藤 明美(高畠町) 近野 健二(高畠町) 大場 哲也(最上町) 石山 雄洋(最上町) 石山満理奈(最上町) 佐藤 康徳(米沢市) 齋藤真貴子(朝日村) 氏居 生良(山形市) 前田 恵美(山形市) 中嶋 桃子(山形市) 原田 優子(天童市) 五十嵐小夜子(天童市)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 高畠町立屋代小学校 天童市立第二中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 鈴木 裕美(高畠町) 堀 文子(酒田市) 高梨 邦弘(高畠町)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 小松 主音(高畠町) 柴田 育恵(大石田町) 後藤 友岐(米沢市)</p> <p><b>優秀賞</b> 佐藤 駿佑(米沢市) 吉田 洋平(高畠町) 矢口 渡(鮭川村) 大場 智美(最上町) 奥山 恵里(最上町) 鈴木まりこ(山形市) 小山田由起子(河北町) 菅 晃太(最上町) 佐藤 舞子(米沢市) 伊藤理恵子(米沢市) 阿川 麻里(山形市) 東海林 宏(山形市) 中鉢 佳奈(天童市) 佐藤 紘子(朝日村) 清野 美幸(朝日村)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 高畠町立和田小学校 天童市立第二中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 加藤 映(鶴岡市) 菅 晃太(最上町) 後藤 友岐(米沢市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 奥山 恵里(最上町) 有川 聡美(村山市) 柿崎 真吾(山形市)</p> <p><b>優秀賞</b> 赤松かおり(最上町) 佐藤 夏佳(最上町) 岩瀬 直紀(高畠町) 菅原美由紀(米沢市) 阿部 達也(立川町) 安達 聖澄(山形市) 青山 光(山形市) 奥山 佳希(最上町) 佐藤 一貴(立川町) 荒木 恵(鮭川村) 土屋 秀恵(山形市) 高橋 祐也(山形市)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 最上町立富沢小学校 山形大学教育学部附属中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 佐々木歩惟(最上町) 有川 聡美(村山市) 森 直子(鶴岡市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 秋原 晴菜(高畠町) 須貝 尚之(最上町) 後藤 友岐(米沢市)</p> <p><b>優秀賞</b> 情野 亮(米沢市) 柴田いくえ(大石田町) 石山 雄洋(最上町) 後藤 卓也(最上町) 曾田 健(山形市) 菅 晃太(最上町) 庄司早也香(最上町) 二戸奈央子(最上町) 渋谷 昌宏(立川町) 五十嵐江利(朝日村) 今野小百合(米沢市) 鈴木 一恵(米沢市) 土肥 由実(米沢市) 小座間恵美(天童市) 田中 文(山形市)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 最上町立向町小学校 鶴岡市立鶴岡第四中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 鈴木美佐登(山形市) 土江 麻代(最上町) 安部 祥子(高畠町)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 渡部みゆき(高畠町) 渋谷 昌宏(立川町) 田中 千鶴(山形市)</p> <p><b>優秀賞</b> 齋藤有貴子(鶴岡市) 齋藤 美香(立川町) 押切 一(最上町) 渋谷 奈央(立川町) 大場 知佳(最上町) 大沼喜世美(最上町) 菅 千恵(最上町) 阿部英里香(最上町) 大谷 房子(最上町) 高橋 誠(最上町) 片桐 由嗣(山形市) 会田 雄介(山形市) 今野ひとみ(山形市) 鈴木加奈子(小国町) 伊藤 知行(小国町)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 立川町立清川中学校 小国町立玉川中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 田中美紀子(山形市) 阿部 政成(最上町) 鈴木祐紀子(山形市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 澁谷 奈央(立川町) 大宮 佳代(山形市) 多勢 緑(南陽市)</p> <p><b>優秀賞</b> 庄司 竜太(最上町) 石山 幸喜(最上町) 原田ひろみ(山形市) 阿部 紋子(最上町) 大友 由香(立川町) 齋藤 幸(八幡町) 加藤 茜(最上町) 柴崎 幸(最上町) 大沼 春光(最上町) 菅 泰子(最上町) 横山 直樹(飯豊町) 鈴木恵美子(山形市) 高橋 邦枝(山形市) 佐藤 大輔(鶴岡市) 早坂美和子(大石田町)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 最上町立東法田小学校 山形市立金井中学校</p>
<p><b>県知事賞</b> 渡邊 克也(最上町) 有路 沙織(尾花沢市) 菊池 佳子(山形市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 大山 和(尾花沢市) 高橋 雄太(尾花沢市) 會田 恵里(山形市)</p> <p><b>優秀賞</b> 須藤 賢東(山形市) 古瀬 友香(尾花沢市) 伊藤 敏彦(尾花沢市) 岡野 浩美(最上町) 加地華南子(高畠町) 花輪みゆき(天童市) 笹原可奈子(尾花沢市) 五十嵐隆介(尾花沢市) 古瀬智佳子(尾花沢市) 武田ゆかり(尾花沢市) 高橋 栄(山形市) 栗原 美穂(山形市) 阿部 誠司(山形市) 丹 奈帆子(山形市) 寺崎 久世(山形市)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第五中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 大類 祐美(尾花沢市) 白井 靖浩(尾花沢市) 齋藤 明子(山形市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 深瀬 美幸(高畠町) 岩松 泉(山形市) 有路 奈央(大石田町)</p> <p><b>優秀賞</b> 森谷 雄太(山形市) 長岡 希(山形市) 小林 龍宏(尾花沢市) 土屋 引一(南陽市) 工藤 誠昭(朝日村) 齋藤 啓(大石田町) 加藤 初恵(尾花沢市) 奥山 和泉(尾花沢市) 岡野 咲子(最上町) 渡部 禎子(南陽市) 原田 沙樹(山形市) 池野まり子(山形市) 入間 利恵(高畠町) 青柳みちよ(高畠町) 阿部 陽一(朝日村)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 最上町立向町小学校 山形市立第四中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 伊藤 桃子(尾花沢市) 高橋 裕(最上町) 竹俣 太郎(山形市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 樋口 裕斗(最上町) 高橋 一輝(尾花沢市) 武田由美子(山形市)</p> <p><b>優秀賞</b> 荒澤 雄太(山形市) 加藤 浩太(尾花沢市) 向田絵梨子(白鷹町) 白旗 典大(鶴岡市) 安野 妙子(鶴岡市) 大石 圭美(天童市) 長南 清香(朝日村) 鈴木 洋子(尾花沢市) 鈴木 雄太(尾花沢市) 島津 展子(高畠町) 松田多恵子(山形市) 佐藤ひとみ(山形市) 奥山 舞(河北町) 奥山 佳子(河北町) 菅原 陽子(大石田町)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 最上町立向町小学校 山形市立金井中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 堀内 智幸(高畠町) 瀬川 絵里(尾花沢市) 有路 奈央(大石田町)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 伊藤 幸則(尾花沢市) 井上 夏美(大石田町) 岡崎 沙織(山形市)</p> <p><b>優秀賞</b> 高橋 悠輝(尾花沢市) 高橋 惇二(寒河江市) 五十嵐政則(高畠町) 高橋 生耶(高畠町) 柳元 穰(尾花沢市) 高橋 祐樹(尾花沢市) 鈴木奈緒美(尾花沢市) 西塚 孝也(尾花沢市) 野口 聡子(東根市) 高橋 一輝(尾花沢市) 遠藤 美代(山形市) 柏倉 友美(山形市) 松田多恵子(山形市) 樋口 康子(白鷹町) 森 秀人(大石田町)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第四中学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 佐藤 真佑(尾花沢市) 板垣 由香(山形市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 赤塚未奈美(天童市) 奥山 智明(尾花沢市)</p> <p><b>優秀賞</b> 五十嵐友明(鶴岡市) 大山 彰(尾花沢市) 折原 亮二(尾花沢市) 土屋翔太郎(尾花沢市) 永沢 将(尾花沢市) 菅 真珠美(最上町) 我妻 孝佳(米沢市) 西塚 葉月(尾花沢市) 大山 宏美(尾花沢市) 山口 陽子(尾花沢市) 五十嵐 悟(朝日村) 田村 久美(朝日村) 金田 夕紀(白鷹町) 佐藤 和郎(白鷹町) 小松 文恵(白鷹町)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 尾花沢市立立野小学校 尾花沢市立玉野小学校</p>	<p><b>県知事賞</b> 五十嵐弘之(尾花沢市) 笹原 文奈(尾花沢市) 大川 薫(山形市)</p> <p><b>県中央会会長賞</b> 笹原 伸吾(東根市) 渡邊 琢也(山形市) 西田 瞳(山形市)</p> <p><b>優秀賞</b> 伊藤 慎哉(尾花沢市) 三宅 結子(尾花沢市) 石澤 英和(山形市) 松田 陽樹(山形市) 大類 秀秋(尾花沢市) 落合絵実子(尾花沢市) 渡部 文子(羽黒町) 横山 樹理(川西町) 大山 智和(尾花沢市) 三宅 里美(尾花沢市) 渡部 祐也(朝日村) 近野 涼子(高畠町) 山口 健(南陽市) 新井まり子(高畠町)</p> <p><b>学校奨励賞</b> 尾花沢市立常盤小学校 尾花沢市立玉野小学校</p>

第27回	第26回	第25回	第24回	第23回	第22回
<p>県知事賞 伊藤佐久磨(朝日村) 小野寺寛貴(鶴岡市) 菅原 香織(朝日村) 県中央会会長賞 伊藤 睦美(朝日村) 本間 稚菜(鶴岡市) 安孫子 郁(天童市) 優秀賞 二宮明日香(高畠町) 阿部亜紗子(最上町) 大貫 秀平(最上町) 清野 史拓(朝日村) 佐藤 拓夢(鶴岡市) 岸 はづき(最上町) 波井 彩希(山形市) 二戸 浩太(最上町) 阿部 貴敏(最上町) 秋野 寛斎(鶴岡市) 松田 恵(南陽市) 川崎 成也(南陽市) 清野 郁(朝日村) 中里恵里香(朝日村) 難波 和宏(鶴岡市) 学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>県知事賞 今井 大輔(鶴岡市) 佐藤 世和(米沢市) 小野寺千賀(朝日村) 県中央会会長賞 水谷ひらり(山形市) 結城 智裕(最上町) 渡辺真理子(高畠町) 優秀賞 小野寺陽奈(朝日村) 大場たくや(最上町) 鈴木 玲奈(高畠町) 後藤なつみ(高畠町) 志藤 貴俊(三川町) 大場 麻由(最上町) 和田真由子(鶴岡市) 石山 樹里(最上町) 清野 郁(朝日村) 佐藤 和磨(山形市) 清野 優(朝日村) 清野 舞(朝日村) 遠藤 晃毅(朝日村) 井上 寛子(天童市) 学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>県知事賞 岸 詩音(最上町) 難波 裕人(鶴岡市) 佐藤 望(天童市) 県中央会会長賞 森 麻美(榊引町) 佐藤 香織(山形市) 清野 舞(朝日村) 優秀賞 今井 大輔(鶴岡市) 三浦 幸希(鶴岡市) 酒井 健太(山形市) 佐藤 大輝(鶴岡市) 佐藤真生子(最上町) 齋藤 那千(朝日村) 阿部 貴敏(最上町) 小野 翔(米沢市) 安達 美有(朝日村) 佐藤 若佳(最上町) 菅原 香織(朝日村) 大滝まど佳(朝日村) 菅原 泰隆(鶴岡市) 荒井 郁(山形市) 小林千恵子(鶴岡市) 学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>県知事賞 阿部 将敏(最上町) 橋本 菜穂(最上町) 伊藤 明希(朝日村) 県中央会会長賞 渡邊 雅正(酒田市) 阿部 奈美(鶴岡市) 斎藤芽衣子(朝日村) 優秀賞 白幡 梓(鶴岡市) 丸山 里佳(榊引町) 田中 麻衣(山形市) 斎藤 陽一(山形市) 高橋 真利(最上町) 渡辺 大(南陽市) 加藤 梓(鶴岡市) 押切 成美(最上町) 安達 千李(三川町) 古川 悠(高畠町) 遠藤 俊一(天童市) 清野 舞(朝日村) 清和 千秋(榊引町) 瀧口 夏子(天童市) 庄司 千鶴(朝日村) 学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>県知事賞 本間 明音(鶴岡市) 渡部 大地(朝日村) 有賀真紀子(朝日村) 県中央会会長賞 黒坂 雄志(最上町) 竹田実穂子(米沢市) 斎藤芽衣子(朝日村) 優秀賞 結城 智裕(最上町) 岸 詩音(最上町) 高橋 隆浩(高畠町) 稲葉 彬(天童市) 近野健三郎(高畠町) 阿部 晴美(最上町) 小野寺美夏(朝日村) 大谷部沙奈(飯豊町) 原田 久美(最上町) 田中絵理加(最上町) 結城 重則(東根市) 高橋 愛実(山形市) 佐藤 牧(朝日村) 原田 智広(高畠町) 本木いずみ(東根市) 学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>県知事賞 三浦 春菜(鶴岡市) 黒坂 星児(最上町) 萩原菜々美(高畠町) 県中央会会長賞 大石 美恵(最上町) 菅 喜美広(最上町) 森谷さとり(天童市) 優秀賞 阿部 裕子(尾花沢市) 菅原 南(鶴岡市) 高橋 隆浩(高畠町) 加藤 梓(鶴岡市) 藤畑 康宏(最上町) 佐藤 秀樹(最上町) 石山 恵里(最上町) 石山 崇人(最上町) 阿部 留佳(朝日町) 菅 晃菜(最上町) 島津 智子(高畠町) 高橋真寿美(高畠町) 阿部 哲(南陽市) 伊藤 千尋(朝日村) 小川 結(山形市) 学校奨励賞 鶴岡市立斎小学校 高畠町立第一中学校</p>
<p>県知事賞 荘司 留加(尾花沢市) 伊藤 祐太(尾花沢市) 村上 美紀(山形市) 県中央会会長賞 阿部 行成(鶴岡市) 須田 雄飛(鶴岡市) 武田亜沙美(山形市) 優秀賞 庄司 菜菜(尾花沢市) 村岡 孝一(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 渡部 香菜(朝日村) 佐藤 史彬(高畠町) 渡辺 大平(尾花沢市) 菅野 慎也(尾花沢市) 有路 里香(尾花沢市) 古瀬 裕真(尾花沢市) 阿部 貴文(鶴岡市) 古川 知美(山形市) 須貝 恵美(山形市) 高島 香織(山形市) 椎名 俊一(山形市) 鈴木 聖美(山形市) 学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第三中学校</p>	<p>県知事賞 清野 史拓(朝日村) 小林 由佳(山形市) 高島 香織(山形市) 県中央会会長賞 武田 翼(尾花沢市) 須田 雄飛(鶴岡市) 小松 恵梨(山形市) 優秀賞 阿部 奨平(尾花沢市) 佐藤 奨啓(寒河江市) 国分 健太(尾花沢市) 工藤 大周(西川町) 佐藤 秀太(寒河江市) 五十嵐 隼(朝日村) 土屋 趙史(尾花沢市) 安達 美咲(高畠町) 倉金 侑香(尾花沢市) 永沢 都(尾花沢市) 田村 里奈(山形市) 村上 美紀(山形市) 須貝 恵美(山形市) 本田 裕子(山形市) 長岡亜由美(山形市) 学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>県知事賞 半田さやか(山形市) 菅野 慎也(尾花沢市) 長嵩 絵理(山形市) 県中央会会長賞 菅 友絵(最上町) 小野麻里子(尾花沢市) 齋藤 利恵(米沢市) 優秀賞 阿部 凌(寒河江市) 岸 英里香(最上町) 小林 育実(最上町) 佐藤 拓実(鶴岡市) 丹野 泰長(山形市) 須田 雄飛(鶴岡市) 片岡 勇人(最上町) 佐藤かおり(山辺町) 大久保 康(藤島町) 福田紗矢佳(最上町) 高島 香織(山形市) 鈴木 綾(米沢市) 小野友加奈(山形市) 学校奨励賞 山形市立南山形小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>県知事賞 熊谷 朋美(尾花沢市) 渡辺 麻美(尾花沢市) 佐藤 瑠子(山形市) 県中央会会長賞 須田 雄飛(鶴岡市) 鈴木 愛香(寒河江市) 長岡 和美(山形市) 優秀賞 原田 初美(尾花沢市) 吉田 龍一(大石田町) 結城 弘斗(最上町) 佐藤 成美(尾花沢市) 船山 達郎(白鷹町) 土屋 範晃(尾花沢市) 五十嵐 祐大(鶴岡市) 村井 法子(尾花沢市) 西尾 円華(尾花沢市) 岸 貴大(尾花沢市) 矢口 亜紀(山形市) 井上 庸(上山市) 鈴木 裕子(山形市) 西村 愛子(山形市) 青柳 悠香(天童市) 学校奨励賞 寒河江市立寒河江中部小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>県知事賞 五十嵐祐大(鶴岡市) 菅野 瞳(尾花沢市) 武田 彩子(山形市) 県中央会会長賞 西塚 眞治(尾花沢市) 今野 里紗(鶴岡市) 長尾 藍(山形市) 優秀賞 小林 由典(白鷹町) 落合 和也(尾花沢市) 木村 和人(鶴岡市) 佐藤 綾子(尾花沢市) 本間 翔太(尾花沢市) 高橋 茉莉(最上町) 大山 美幸(尾花沢市) 赤松かおり(最上町) 工藤 竜也(尾花沢市) 佐藤 伸也(新庄市) 鈴木 裕子(山形市) 友寄 歩惟(上山市) 庄司美智子(上山市) 遠藤真理子(山形市) 遠藤由紀子(山形市) 学校奨励賞 鶴岡市立栄小学校 上市市立北中学校</p>	<p>県知事賞 本間 裕紀(尾花沢市) 飛渡 沙織(大石田町) 菊池 佳子(山形市) 県中央会会長賞 遠藤 美佳(尾花沢市) 渡部 達(朝日村) 佐藤 瑠子(山形市) 優秀賞 伊藤 由貴(尾花沢市) 渡部みなみ(高畠町) 荒木 渚(鮭川村) 横山 浩輔(尾花沢市) 高橋 真美(最上町) 北條 隆大(最上町) 星川 瑠美(尾花沢市) 小野 貴紀(尾花沢市) 高橋 梨絵(最上町) 庄司 修(最上町) 溝越 清美(山形市) 公平 央紀(米沢市) 小野 展裕(山形市) 武田 彩子(山形市) 吉田由紀子(山形市) 学校奨励賞 尾花沢市立玉野小学校 山形市立金井中学校</p>

## 第27回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール審査経過の概要

### 応募数

作文：321点  
図画：1,128点

区分	第1部	第2部	第3部	計
作文部門	91点	98点	132点	321点
図画部門	688点	417点	23点	1,128点

### 審査員

作文部門：伊藤恵美子（山形市立第三中学校教諭）  
三浦 照子（山形市立東小学校教諭）  
向田 志津（山形市立鈴川小学校教諭）  
井上千香子（上市市立宮生小学校教諭）  
岡崎 悦子（山形市立第九中学校教諭）

### 最終審査

県審査期日

平成15年1月15日（水）

入賞作品数

山形県知事賞 作文3点、図画3点  
山形県農業協同組合中央会会長賞 作文3点、図画3点  
優秀賞 作文15点、図画15点  
学校奨励賞 作文2校、図画2校

図画部門：清野 勝（山形市立第九小学校校長）  
渡邊 斉（山形大学教育学部附属小学校教諭）  
渋間 靖（山辺町立中中学校教諭）  
山内 隆之（山形県教育庁義務教育課指導主事）

### 表彰式

平成15年2月8日（土）

山形市「オーヌマホテル」

年度	部門	第1部	第2部	第3部	合計
H.2 (第15回)	作文 図画	397 1,740	670 1,145	156 46	1,223 2,931
3 (第16回)	作文 図画	253 1,031	402 878	104 43	759 1,952
4 (第17回)	作文 図画	212 982	350 767	135 32	697 1,781
5 (第18回)	作文 図画	210 1,276	359 964	217 54	786 2,294
6 (第19回)	作文 図画	167 1,164	330 820	179 53	676 2,037
7 (第20回)	作文 図画	220 781	300 647	138 23	658 1,451
8 (第21回)	作文 図画	201 639	337 507	152 66	690 1,212
9 (第22回)	作文 図画	63 643	229 461	69 40	361 1,144
10 (第23回)	作文 図画	75 907	137 594	117 47	329 1,548
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128

# 第27回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領

## 1. 趣 旨

このコンクールは、ごはん食や稲作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般と、ごはん食が健康に結びつくことを見直してもらうとともに、次世代の子供たちに稲作農業が果たす多面的な働きとごはん食の重要性、人々とのコミュニケーション作りをはかるために実施します。

また、全国段階のコンクールと並行し、同一趣旨で実施します。

## 2. 「作文・図画の課題」「応募資格」「応募規格(枚数・大きさ)」「応募規則」

全国段階の募集要領を適用します。

(注) 応募作品は返却いたしません。また、作品の著作権は山形県農業協同組合中央会に属します。

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、さらにお米に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。なお、盲学校、聾学校および養護学校の小学部、中学部も上記の小学校、中学校に準ずるものとします。

【応募規格】(枚数・大きさ)

作文部門

- 1部 小学校1年生～3年生  
(400字詰市販原稿用紙2枚以内)
- 2部 小学校4年生～6年生  
(400字詰市販原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生  
(400字詰市販原稿用紙4枚以内)

図画部門

- 1部 小学校1年生～3年生
  - 2部 小学校4年生～6年生
  - 3部 中学校1年生～3年生
- B3判(36.4センチ×51.5センチ)相当の市販用紙を使用。画材はとくに制限しません。

地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

課題にそった作品を対象とします。

他のコンテストに応募していない作品に限ります。

ひとりで1部門に2点以上は応募できません。

図画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの)のものは応募できません。

学校で応募の際は、別添の応募者明細表を必ず添付してください。

作品には、1点ごとにつぎの事項を記入した応募票をつけてください。(下に見本)

つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。

作品の題名 学校所在地(郵便番号・電話番号)  
氏名・性別 本人住所(郵便番号・電話番号)  
学校名・学年・組 J A 名(農協名)

## 3. 締切日

平成14年10月10日(木)(必着)

## 4. 入賞発表

全国発表 平成14年12月2日(月)

本県発表 平成15年1月下旬

## 5. 賞

全国審査の全国表彰のほか、本県審査により次の表彰を行います。

山形県知事賞

両部門各部門ごとに1名 計6名

(賞状と山形県農業協同組合中央会から1万円相当の図書券)

山形県農業協同組合中央会会長賞

両部門各部門ごとに1名 計6名

(賞状と山形県農業協同組合中央会から5千円相当の図書券)

優秀賞

両部門各部門ごとに5名 計30名

(賞状と山形県農業協同組合中央会から3千円相当の図書券)

学校奨励賞

両部門ごとに2校 計4校

(賞状と山形県農業協同組合中央会から2万円相当の図書券)

## 6. 審査員

県教育庁、小・中学校教諭、J A 山形中央会

## 7. 応募先

(1) 県内の各J Aを受付窓口とします。

(2) 県段階は次に問合わせください。

〒990 - 0042

山形市七日町三丁目1 - 16

山形県農業協同組合中央会

(J A 山形中央会)

営農農政部営農農政課

「作文・図画募集」係

T E L 023 - 634 - 8115

F A X 023 - 633 - 1754

## 8. 全国段階との関連

(1) 県段階で予備審査を行い、各部門ごと数点を全国に推薦します。

(2) 全国審査終了後、全国から返送された作品を含め、本県の本審査を行い、県段階の優秀作品を決定します。

作品の題名		
ふりがな		性別
氏名		男・女
ふりがな		
学校名	立	学校
ふりがな		年 組
学校所在地	〒	TEL
ふりがな		
本人住所	〒	TEL
J A 名 (農協名)		

(注) 太い線で囲んだ部分は必ず記入して下さい。ふりがなも必ず記入して下さい。

表紙は、図画3部 全国農業協同組合中央会会長賞 山形市立第三中学校3年 岸野理沙さんの作品です。



JA グループ山形